

各 位

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐藤 次郎

「文化庁委託 日振協 留学生対象の日本語教師初任者研修」のご案内

1 研修の趣旨と目的

一般財団法人 日本語教育振興協会(以下「日振協」)は、2018～2019 年度に文化庁委託日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業(以下「開発事業」)として日本語教師【初任】(活動分野：留学生)に対する研修を実施いたしました。今年度は、開発事業の後継事業である「日本語教育人材の研修プログラム普及事業」として日本語教師初任者研修を実施します。

本研修のカリキュラムは文化審議会国語分科会の「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)」に基づいており、初任者が体系的・計画的に日本語指導を行うための実践的能力として(1)自律的・持続的な成長力(2)対話力(3)専門性の3つの資質・能力の養成を狙いとした90単位時間のプログラムです。忙しい仕事の合間を縫って学べるよう、また地方の日本語教育機関の新任の先生方への負担を減らすため、e-Learningを利用した研修となっています。

今年度は開講期間中のコロナウィルス感染拡大の状況が不明のため、**研修形態をフルオンラインとしました**。昨年度のカリキュラムを基盤としながら、今後日本語教師にますます求められるであろうICT活用能力(オンライン授業やハイブリッド授業の実践等)に重点を置いた研修を行います。

2 研修対象者

日本語教育機関(告示校)の日本語教師(専任及び非常勤)として採用されて原則3年以内の方(100人)

3 研修期間

2020年9月19日(土)から2021年2月14日(日)まで

4 受講料等

① 日振協の維持会員及び準会員の日本語教育機関の教員：10,000円(消費税込)

② ①以外の日本語教育機関の教員：20,000円(消費税込)

*別途教材費が3,000円(消費税込)がかかります。

*オンライン研修のために必要な通信費などは、自己負担となります。

5 研修内容

オリエンテーションのあと、以下が続きます。

①gacco(LMS[学習管理システム])を用いた「オンライン映像講義」の視聴による日本語教育界の現状把握と基礎知識の習得

②Web会議システムを用いた「オンライン集合研修」(4回)への参加による専門的ネットワーク形成と連携力・協働力の育成

③自分の授業について自己点検を行う「自己研修」による自己点検能力と教授能力の育成

① オンライン映像講義

18人の一流講師による講義を視聴し、理解度確認クイズに解答します(一部視聴が任意の科目があります)。講師名及び講義内容は以下のとおりです。

日本語教育・日本語教育機関の変遷	西原鈴子(NPO 日本語教育研究所理事長、 元国際交流基金日本語国際センター所長)
日本の留学生政策と現状	佐藤由利子(東京工業大学環境・社会理工学院准教授)
日本語教育機関の歴史と現状	佐藤次郎(日本語教育振興協会理事長) 高山泰(日本語教育振興協会専務理事)
日本語留学生の背景	奥田純子(コミュニケーション学院 学院長) 亀田美保(大阪 YMCA 日本語教育センター長) 山本弘子(カイ日本語スクール代表)
日本語の試験	伊東祐郎(国際教養大学日本語教育実践領域 領域長、 元東京外国語大学副学長)
進路選択関連情報	工藤尚美((株)オリジネーター取締役・専務執行役員)
留学生の異文化受容・適応とその支援	加賀美常美代 (目白大学心理学部教授、 元お茶の水女子大学基幹研究院教授)
留学生のための教材・教具のリソース	保坂敏子(日本大学大学院総合社会情報研究科教授)
著作権	我妻潤子(知財アナリスト、東京藝術大学非常勤講師)
統計処理(テスト・評価・成績管理)	島田めぐみ(日本大学大学院総合社会情報研究科教授)
目的別指導法	倉本文子(カイ日本語スクール主任講師)
教案作成	
教材作成	藤本かおる(武蔵野大学グローバル学部准教授)
オンライン授業法	
話す・議論の指導法	柳田直美(一橋大学国際教育交流センター准教授)
作文・論文の指導法	高橋薫(創価大学学士課程教育機構准教授)
評価法	
演習(自己点検)	金田智子(学習院大学文学部教授)

② オンライン集合研修

東京・関東甲信越地区(関東以北にお住まいの方も対象)、東海・北陸地区、近畿地区、中国・四国地区、九州・沖縄地区の受講生がそれぞれの地区の集合研修にオンラインで参加し、グループワーク等を通して同地区の受講生と交流も深めます。テーマと実施時期は、

オリエンテーション

[9月19日(土)]

「初任教員に求められる資質・能力」 [10月中旬の週末を予定]

「著作権」

[11月中旬の週末を予定]

「オンラインによる授業の指導案」

[12月中旬の週末を予定]です。

③ 自己研修

自分の授業を撮影してその授業分析を行い、自己点検レポートを作成したのちに相互評価を

行います。

④ オフィスアワー(参加は任意)

希望者に ICT スキルの向上及びサポートを行います。

*研修に関する諸連絡、オンライン映像講義の視聴とクイズ解答、オンライン集合研修のレポート提出、レポートの相互評価、問合せなどはすべて **gacco** 内で行います。

6 インターネット等通信環境要件

① 毎日チェックできる個人のメールアドレスを所有している。

※「gacco」のアカウント登録に①のメールアドレスを使用いたします。一括で登録いたしますので、受講申し込みの際に必ず記載お願いいたします。

※※既に「gacco」のアカウントをお持ちの方は登録しているよく使う個人用メールアドレスをご利用お願いいたします。また受講申込書にユーザー名も記載お願いいたします。

② 映像講義視聴、web 会議システム利用に支障の無いインターネット環境（光回線の有線接続、高速の wifi 等）がある [ポケット wifi などの場合、無制限を推奨]。

③ (パソコン本体に内蔵されていない場合) web 会議システム利用に備え Web カメラ、ヘッドセット(またはマイク付きのイヤホン)を用意する。

※web 会議システムのアプリケーションをインストールする必要があります。

例)「ZOOM」の場合、推奨利用環境は下記をご参照ください。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-System-Requirements-for-PC-Mac-and-Linux>

7 修了要件

3つの評価項目(①オンライン映像講義、②集合研修、③自己研修)がすべて 70%以上である研修生に修了証を授与します。昨年は受講生の 94%が修了しました。

8 成果

本研修の修了は、日本語教師としての履歴に明記でき、個人にとっても所属する教育機関にとっても、教育能力の保証の一端となり得ます。

9 応募方法

受講希望者は、別紙申込書をメール添付にて提出してください。

【応募書類提出先】

一般財団法人日本語教育振興協会事業部 E-mail : jigyobu@nisshinkyo.org

応募締切日：2020年8月17日(月)必着

2020年8月下旬に電子メールにて受講の可否を通知します。

受講料等の支払方法や受講方法の詳細な手順等については、追って受講決定者にご連絡いたします。

10 問合せ先

一般財団法人日本語教育振興協会事業部 初任教員研修担当
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-58-1 石山ビル 2 階
Tel : 03-5304-7815 E-mail : jigyobu@nisshinkyo.org

2020年度日本語教師初任者研修参加申込書

2020年 月 日

一般財団法人 日本語教育振興協会理事長

標記の研修に申し込みます。

ふりがな			
氏名			
生年月日		年 月 日	
勤務形態		<input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	
告示校の日本語教師としての 経験年数		年 月	
所属機関	機関名		
	設置代表者	<input type="checkbox"/> 日振協会員の日本語教育機関 <input type="checkbox"/> 日振協会員以外の日本語教育機関	
本研修で「gacco」に登録 するEメールアドレス		@	
既に「gacco」のアカウントを お持ちの場合、ユーザー名			
連絡先	住所	〒	
	電話		FAX

2020年8月17日(月)までに事業部(Eメール:jigyobu@nisshinkyu.org)宛て送付願います。

参加申込に関する個人情報の利用目的について

1. 当協会では、個人情報に関する法令、その他規範、および当協会に定める「個人情報の保護に関する方針」「個人情報保護規則」を遵守し、個人情報を適切に管理します。
2. 参加申込に際し提供いただく個人情報は、当協会主催の初任者研修事業の実施の目的で利用します。
3. 当協会では、法令に定める場合を除き、あらかじめ情報主体の同意を得ることなく個人情報を第三者に提供することはありません。